

## 一般演題2 O2-5

### 特発性両側性感音難聴に対する高気圧酸素治療の経験

雨宮正樹<sup>1),2)</sup> 星野 傑<sup>1),2)</sup> 池田達宣<sup>1)</sup>

小島泰史<sup>1)</sup> 柳下和慶<sup>1),2)</sup>

1) 東京医科歯科大学病院 高気圧治療部  
2) 東京医科歯科大学病院 スポーツ医学診療センター

#### 【目的】

原因不明の感音難聴のうち、両側性の感音難聴は特発性両側性感音難聴とされ、原因も多岐にわたることから治療に難渋する。今回特発性難聴に対して当院で高気圧酸素治療（HBO）を施行した治療経験について報告する。

#### 【対象・方法】

2012年から2020年の間に当院でHBOを施行した特発性両側性感音難聴の患者15名（男性6名，女性9名）を対象とした。年齢，難聴発症時からHBO開始日までの期間，既往歴，糖尿病合併の有無，前庭症状の有無，HBO開始前及び治療後の左右平均聴力（4分法），HBOの回数，HBOの有害事象に関して調査した。聴力回復の判定基準は厚生省特定疾患急性高度難聴調査研究班作成の基準を用いた。HBOは第2種装置を用いて2.5絶対気圧，105分で行った。HBO前後の聴力の比較はウィルコクソン符号付順位検定を用いて評価した。

#### 【結果】

対象患者の平均年齢は $52.6 \pm 16.6$ 歳，難聴発症からHBO開始までの期間は平均 $51.5 \pm 96.9$ 日であった。既往歴としては，シェーグレン症候群，大動脈炎症候群，高安病，皮膚筋炎，慢性腎不全，梅毒感染，ライゾーム病などを認めた。糖尿病の合併は2例認め，前庭症状を認めるものは4例（26.7%）であった。HBOの施行回数は平均11.8回で，試行中の有害事象は認めなかった。HBOによる著明改善が1例，回復が1例認めた。HBO開始前の平均聴力（dB）は左右の悪い側で $80.6 \pm 20.7$ dB，対側で $71.7 \pm 26.8$ dBであり，HBO治療後の平均聴力は順に $80.3 \pm 28.3$ dB， $67.4 \pm 32.3$ dBであり，有意な改善を認めなかった。

#### 【考察】

特発性両側性感音難聴の原因は不明であり，遺伝子の関与も報告されている。両側高度難聴症例に対するHBO治療は意思疎通に難渋するが，プロジェクターやパネルを使用することで有害事象なく円滑に行うことが可能であった。改善例を認めたものの，多くの症例でHBO治療に対する反応は少なく中等度～高度難聴が残存した。今後症例数を増やしHBO治療に反応する患者因子の検討が望まれる。